

稲作管理特報

令和7年7月7日
入善産米品質向上対策本部
黒東地域農業技術者協議会

コシヒカリの草丈、葉令、葉色はほぼ平年並みで、茎数は平年より多くなっています。また、今後気温が高く推移すると予想されることから、極端な葉色低下を防ぐため、中干し後は干しすぎないように注意しましょう。

【コシヒカリの生育状況（みな穂管内）】（展示ほ8ヶ所）

年産	田植日 (月/日)	6月24日					7月1日				
		草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色
			(本/株)	(本/m ²)				(本/株)	(本/m ²)		
R7	5/11	48.9	29.0	635	10.1	4.2	58.4	26.2	573	11.1	4.1
R6	5/12	45.8	26.8	558	10.0	4.4	55.9	27.1	564	10.9	4.1
平年	5/12	49.2	24.7	510	10.0	4.3	60.5	25.0	515	10.9	4.1

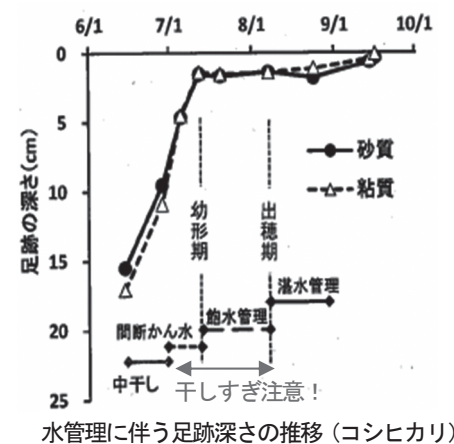
1. これからの水管理・・・暑い時こそ水管理が重要！

①幼穂形成期～出穂期 ⇒ 飽水管理

- ・入水の間隔を短くし、常に足跡や溝に水が残る程度の状態を保ちましょう。
- ・雨が続く場合は水尻を開けて落水しましょう。

②出穂期～出穂後20日間 ⇒ 湛水管理

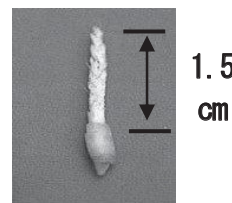
- ・田面が出ない程度の入水状態を保ちましょう。
- ・水をためっぱなしにせず、地域の用水事情に応じて水の入替えを行いましょう。
- ・かけ流しは絶対に行わないようにしましょう。



2. コシヒカリの穂肥（分施肥体系(基肥 206号)の場合）

＜コシヒカリ穂肥施用の目安＞（田植え：5月10～15日頃 幼穂形成期：7月12日頃 出穂期：8月3日頃）

穂 肥		第1回目	第2回目
施用時	草 丈	82 cm	—
	幼穂長	1.5 cm	13 cm程度
施用時	葉 色	3.6	4.0
	施肥時期	7月19日頃	1回目の7日後
肥料名		追肥3号	
施肥量		10kg/10a	12kg/10a



1回目穂肥施用時の幼穂

※1回目穂肥時の葉色が「3.8～4.0」のほ場では、施用時期を2～3日遅くするか、施肥量を7割程度に減らしましょう。また、葉色が「4.0」より濃いほ場では、1回目は施用しないでください。

高温でも夏バテしないよう水管理をこまめに行いましょう！

☆排砂情報を確認しましょう

排砂の際は適切な事前に入水するなど、
生育に応じた水管理を行いましょう。



黒部河川事務所HP

3. てんたかく（早生）の防除

防除 時期		走り穂(1回目)	穂揃期(2回目)	傾穂期(3回目)
		7/14～7/16	7/21～7/23	7/28～7/30
液剤体系	ブームスプレー	モンカットフロアブル + トレボンEW	ラブサイドK2 フロアブル	スタークル液剤10
		1000倍 / 100ℓ 薬量 100 mℓ/10a + 薬量 100 mℓ/10a	1000倍 / 100ℓ (薬量 100 mℓ/10a)	1000倍 / 100ℓ (薬量 100 mℓ/10a)
	ドローン	モンカットフロアブル + トレボンエアー	ラブサイドK2 フロアブル	スタークル液剤10
		8倍 / 0.8ℓ 薬量 100 mℓ/10a + 薬量 100 mℓ/10a	8倍 / 0.8ℓ (薬量 100 mℓ/10a)	8倍 / 0.8ℓ (薬量 100 mℓ/10a)

◆散布時の留意点

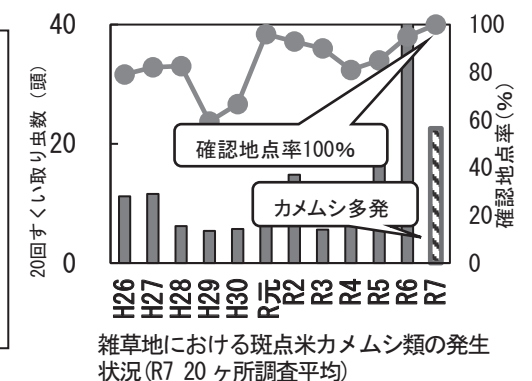
- ・防除前に畦畔等の草刈りを行いましょう。
- ・防除効果を高めるため、散布の間隔は1週間を目安としましょう。
- ・防除の際は、畦畔を含む水田全体に薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・田植日等により出穂期が異なるので、防除前に必ず出穂状況を確認しましょう。
- ・農薬の使用基準を守るとともに、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。

4. 斑点米カメムシ類対策・・・草刈りと適期の防除で斑点米の発生を防止！

- ・斑点米カメムシ類は、確認地点率が100%と全ての調査場所で確認されました。
- ・平均虫数は22.6頭で、過去12年の中では2番目に多い数でした。
- ・畦畔、用水や道路の法面のイネ科雑草、特にナギナタガヤにはカスミカメ類が多いため、草刈り等の基本防除を徹底しましょう。

☆転作田のほ場管理について

- ・大麦や転作跡地はカメムシ類の繁殖好適地となるため、雑草が繁茂しないように管理し、カメムシの密度低下を図りましょう。
- ・ほ場の有効活用のため、積極的に大豆や園芸作物緑肥等を栽培しましょう。



ナギナタガヤ

★JAみな穂では営農情報を配信しています。
・営農メール: 水稻栽培情報、気象・災害情報
・LINE: 稲作管理特報などの各種特報
※右のQRコードを読み込み、案内に沿って手続きして下さい。

営農
メール



LINE



JA みな穂営農センター TEL 74-2440 中央支店経済課 TEL 72-5379 西部支店経済課 TEL 72-1162
南部支店経済課 TEL 78-1167 新川農林振興センター 農業普及課 TEL 52-0094